

## 美の国カレッジ特別公開講座「発見!秋田の文学～小林多喜二の文学」



講師の北条シニアコーディネーター

北条常久・美の国カレッジシニアコーディネーターが講師となり、大館市出身のプロレタリア作家、小林多喜二をテーマとした「美の国カレッジ特別公開講座『発見!秋田の文学～小林多喜二の文学』」が、12月7日(水)から3回にわたって開催されました。

第1回は「多喜二と秋田」と題して、多喜二の生まれ故郷と母セキの生き方から、多喜二の文学形成について考えました。

第2回は「多喜二と小樽」をテーマに、伯父のパン工場で働きながら学んだ小樽高等商業学校時代や、就職した北海道拓殖銀行時代の生活、恋人の田口タキとの出会いから小樽時代の多喜二の青春と人生を学びました。

第3回は「多喜二の『蟹工船』」で、日本のプロレタリア文学の名作『蟹工船』を中心に、多喜二の作品がなぜ今でも多くの人に読まれているのかを再考しました。

これらの講座の中で北条シニアコーディネーターは、当時の写真を例に挙げながら「多喜二の作品では主人公は非常に貧しい生活を送っているが、多喜二本人はそれほど貧しい生活を送っていたわけではなく、世間なみの生活をしていて」と説明され、ややもすると読者は「小説と現実とは同一である」という思い込みには陥るとしました。

またプレカリアート(プレカリオ「不安定な」とプロレタリアート「労働者階級」を合わせた造語)についても言及し、多喜二の文学と今日の不況にあえぐ人々との関連をわかりやすく解説しました。

講演後は、受講者から多喜二と歴史的背景について積極的に質問や意見が出され、秋田が輩出した文学者についての理解を深めた講座となりました。



若き日の小林多喜二のスライド

## 美の国ビデオカレッジスタート

県生涯学習センターが所蔵している豊富な視聴覚教材を活用した「美の国ビデオカレッジ」が1月19日(木)からスタートしました。

この講座では、前半は「あきた県政この1年」を、後半は「あきた・れきし・物語」をテーマにビデオ映像を上映します。

初回は平成元年・2年の「県政この1年」と、「千秋公園・久保田城物語」が上映され、受講者は当時の映像を懐かしそうに眺めていました。

美の国ビデオカレッジは全6回でお届けしています。



美の国ビデオカレッジのようす

## 美の国カレッジ『特別公開講座』のおしらせ

今年度開催された美の国カレッジあきた学総合コースの中から、特に好評をいただいた講座を、開催地域を変えて無料でお届けします。今年度最後の公開講座となりますので、ぜひご参加ください。開催日程および開催場所は次のとおりです。

### 美の国カレッジ『特別公開講座』

平成24年2月26日(日) 13:00~14:30

テーマ「秋田県を訪れた文人たち ~芭蕉・真澄・子規らの記録から~」

講師：にかほ市象潟郷土資料館

学芸員 齋藤一樹氏

会場：上小阿仁村生涯学習センター



平成24年3月3日(土) 13:00~14:30

テーマ「渋江家の手前給人について ~神宮寺村を中心に~」

講師：元県立図書館長 半田和彦氏

会場：大仙市大曲交流センター

平成24年3月4日(日) 10:00~11:30

テーマ「三湖伝説を語る」

講師：大館市立釈迦内小学校 校長 五十嵐 経氏

会場：潟上市昭和公民館



平成24年3月4日(日) 13:00~14:30

テーマ「プロレタリア作家 小林多喜二 ~その国際的評価をめぐって~」

講師：秋田県立大学総合教育研究センター

教授 高橋秀晴氏

会場：大館市立中央公民館

平成24年3月10日(土) 13:00~14:30

テーマ「方言を大切にした標準語の村」

講師：美の国カレッジシニアコーディネーター 北条 常久

会場：東成瀬村地域交流センター(ゆるるん)



平成24年3月11日(日) 13:00~14:30

テーマ「世界遺産平泉の源流を探る ~横手の遺跡をめぐって~」

講師：横手市教育委員会

文化財保護課 副主査 島田 祐悦氏

会場：秋田県生涯学習センター

「美の国カレッジ情報2011」は、生涯学習センターHP(<http://www.pref.akita.lg.jp/lifelong/>)からカラー版PDFファイルでダウンロードできます。